

アナウンス再生ソフトウェア AI-210ML (Ver. 2)



このたびは、TOA アナウンス再生ソフトウェアをご利用いただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこのソフトウェア取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

はじめに	4
概要	4
AI-210ML でできること	4
用語の説明	4
ソフトウェアの起動と終了のしかた	5
ソフトウェアの起動のしかた	5
ソフトウェアの終了のしかた	5
運用のしかた	6
カテゴリから放送するとき	7
単一放送のしかた	7
複数放送のしかた	11
履歴から放送するとき	15
履歴リストから内容を選択して放送する	15
履歴リストを日付で絞り込んで選択する	19
履歴リストをカテゴリで絞り込んで選択する	20
履歴リストをキーワードで絞り込んで選択する	21
スケジュールを新規作成するとき	22
初期設定ウィザードでの設定の流れ	22
1日のパターンを設定する	23
週間設定を行う	23
スケジュール放送を開始する	24
スケジュールから放送するとき	25
自動放送のしかた	26
手動放送のしかた	28
通知列の表示	30
スケジュールを本日限りで変更するとき	31
スケジュールイベントの追加のしかた	32
スケジュールイベントの編集のしかた	33
スケジュールイベントのコピーのしかた	34
スケジュールイベントの除外のしかた	35
スケジュールを変更するとき	36
1日のパターンを設定する	36
1日の始まりを設定する	36
1日のパターンを編集する	37
スケジュールイベントの追加のしかた	39
スケジュールイベントの編集のしかた	39
スケジュールイベントのコピーのしかた	41

スケジュールイベントを 1 件のみ削除するとき	41
複数のスケジュールイベントをまとめて削除するとき	41
連続した複数のスケジュールイベントを作成するとき	42
1 日のパターンをコピーする	43
週間設定を行う	44
その他の機能	45
ファイルからインポートする	46
ファイルへエクスポートする	47
本日のパターンを読み直す	47
NX-300 との接続	48
概要	48
NX-300 の制御出力動作	48
設定・確認のしかた	49
放送先設定のしかた	50
音量設定のしかた	52
放送停止設定のしかた	53
チャイム設定のしかた	54
クラウド通信設定のしかた	55
クラウド同期のしかた	57
アナウンズデータ更新のしかた	62
音源登録	63
放送プログラムの表示	66
ライセンス情報の表示	67
バージョン情報の表示	68
データ消去のしかた	69
トラブルシューティング	72

はじめに

■ 概要

本書は、アナウンス再生ソフトウェア AI-210ML のソフトウェア取扱説明書です。

■ AI-210ML でできること

AI-210ML では、必要なタイミングで必要な放送内容を選択して放送できる手動放送（[P. 7](#)、[P. 15](#)）と、放送内容と放送時刻をあらかじめ登録し、スケジュールどおりに放送を行う自動放送（[P. 25](#)）ができます。

また、放送音声としては、アナウンスクリエイタークラウドで作成したアナウンスデータ、もしくはお手持ちの音源ファイルを登録して使用できます。

■ 用語の説明

● アナウンスデータ

アナウンスクリエイタークラウドで作成した本ソフトウェア用の放送音源です。

● スケジュールイベント

放送文に放送開始時刻を設定した、1つの放送単位です。

● パターン

スケジュールイベントを組み合わせて、1日の放送内容をまとめたものです。

● スケジュールデータ

「1日のパターン設定」画面と「週間設定」画面で設定したデータです。

ソフトウェアの起動と終了のしかた

■ ソフトウェアの起動のしかた

手順：アナウンス再生ソフトウェアのアイコンをダブルクリックする。
アナウンス再生ソフトウェアが起動します。



■ ソフトウェアの終了のしかた

1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「終了」を選択する。

確認画面が表示されます。

× モ

ウィンドウ右上の「×」をクリックしても同様です。

2 「はい」をクリックする。
ソフトウェアが終了します。



運用のしかた

このソフトウェアを使用して放送するには、次の3通りの方法があります。

- カテゴリーから放送する
- 履歴から放送する
- スケジュールから放送する

また、放送先への接続設定には次の2通りの方法があります。

- パソコンのヘッドホン端子を放送設備へ接続する
- 放送設備に設置した NX-300 と LAN 経由で接続する ( P. 48 「NX-300 との接続」)

ご注意

- このソフトウェアを運用しているときは、パソコンのスリープや休止、ユーザーの切り替えをしないでください。ただし、安定した動作を継続するために、計画的に半年に1回程度はパソコンおよびこのソフトウェアを再起動してください。
- NX-300 と LAN 経由で接続しているときに、放送中にパソコンをシャットダウンすると、NX-300 の制御はオンのままになり、放送設備から放送できなくなる場合があります。
- スケジュールから放送において、1日の始まり時刻直前の数分間は日替わり処理中のため、スケジュールの変更はできません。

メモ

このソフトウェアでは放送の前後にチャイムを鳴らすことができますが、初期設定ではチャイムを使用しない設定になっています。

チャイムを使用する場合は、P. 54 「チャイム設定のしかた」をお読みください。

なお、次ページの「カテゴリーから放送するとき」と「履歴から放送するとき」(P. 15)の説明は、チャイム設定がチャイムを使用する場合のものです。

カテゴリーから放送するとき

カテゴリーごとに分けられた放送文から必要なものを選択して放送できます。

カテゴリーからの放送には、次の2通りがあります。

単一放送：1つの放送文を選択して放送します。

複数放送：複数の放送文を選択して放送します。

■ 単一放送のしかた



1 [カテゴリーから放送] タブをクリックする。

2 単一／複数スイッチが「複数」側になっているときは、スイッチをクリックする。
スイッチが「単一」側にスライドします。

3 カテゴリーをクリックする。
この例では [運転見合わせ] が選択されています。
カテゴリーの下の行に、[運転見合わせ] に登録されている放送文が表示されます。

4 カテゴリーに登録された放送文から放送したいものをクリックする。
放送文が選択されて放送文表示欄に表示されます。
この例では [路線運転見合わせ] が選択されています。

5 必要に応じて、選択した放送文を編集する。

編集できる箇所は、アイコン  と共に橙色で表示されています。

5-1 編集できる箇所をクリックする。

次の編集画面が表示されます。

クリックした内容と入れ換えできる候補が、一覧で画面下側に表示されます。



5-2 入れ換えたい内容をクリックする。

内容が入れ換わります。

5-3 他に編集したい箇所がある場合は、編集画面で該当箇所をクリックする。

クリックした内容と入れ換えできる候補が一覧で画面下側に表示されます。

5-4 入れ換えたい内容をクリックする。

内容が入れ換わります。

5-5 手順 5-3 と 5-4 を繰り返して必要箇所をすべて編集する。

5-6 完了ボタンをクリックする。

- 放送文表示部の右上部にある編集ボタンをクリックしても編集画面が表示されます。その場合も、上記と同様の手順で放送文を編集してください。
- 画面左下の「初期値に戻す」ボタンをクリックすると、編集中の放送文が納入時の状態に戻ります。

6 必要に応じて、放送先の設定を行う。

6-1 放送先タブをクリックする。

放送先の設定画面が表示されます。

ご注意

放送先設定 (P. 50) の出力先が「ヘッドホン」のときは、放送先タブは表示されません。

6-2 放送する放送先をクリックする。

クリックした放送先名の左上に橙色でチェックマークが表示されます。

- 画面右下の全選択ボタンをクリックすると、すべての放送先が選択されます。
- 画面右下のクリアボタンをクリックすると、放送先の選択が解除されます。



7 必要に応じて、放送言語と繰り返しの設定を行う。

7-1 言語・繰り返しタブをクリックする。

放送言語と繰り返しの設定画面が表示されます。



7-2 放送言語と繰り返しの設定を行う。

設定内容は次の表のとおりです。

項目	設定内容
言語	放送する言語を選択して設定します。 複数選択もできます。複数選択した場合、左側に表示された言語から順番に連続して放送されます。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 前ページの例の場合、日本語→英語→中国語→韓国語の順番で放送されます。
繰り返し回数	放送を繰り返す回数を設定します。 「なし」「2回」「∞」から選択します。 「∞」に設定すると、手動で停止するまで繰り返して放送します。 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 複数の言語が選択されているときは、各言語で1回ずつ放送され、それが繰り返し放送されます。
繰り返し間隔	「繰り返し回数」の設定が「2回」または「∞」になっている場合、放送が終了した後に次の放送が開始するまでの間隔を設定します。 「なし」「10秒」「30秒」「60秒」から選択します。

8 放送時のチャイムをオフにするときは、チャイムスイッチをクリックする。

チャイムスイッチがスライドしてオフになります。

ご注意

チャイムを使用しない設定になっているときは、スイッチが表示されません。(P. 54「チャイム設定のしかた」)

- チャイムをオンにするときは、スイッチをもう一度クリックします。
- チャイムスイッチがオン（緑色）になっており、かつ放送を繰り返す設定（上記「繰り返し回数」）になっているときは、チャイムは放送を繰り返すごとに鳴ります。

9 試聴するときは、試聴ボタンをクリックする。

音声は、タブレット端末のヘッドホン端子または内蔵スピーカーから出力されます。試聴中は試聴ボタンに代わり、試聴停止ボタンが表示されます。試聴を途中で停止したいときは、試聴停止ボタンをクリックしてください。

ご注意

- バージョンが 2.1.0 より前の場合は試聴できません。(P.68 「バージョン情報の表示」)
- 放送先設定で音声出力が「ネットワーク」に設定されているときのみ有効です。音声出力が「ヘッドホン」に設定されているときは、ボタンが表示されません。(P.50 「放送先設定のしかた」)

10 放送開始ボタンをクリックする。

放送が開始されます。
くり返し設定が「なし」または「2回」のときは、放送が終了すると自動的に停止します。
放送を途中で停止したいときは、画面右上の放送停止ボタンをクリックしてください。

■ 複数放送のしかた



1 [カテゴリーから放送] タブをクリックする。

2 単一／複数スイッチが「単一」側になっているときは、スイッチをクリックする。
スイッチが「複数」側にスライドし、複数の放送文が選択できるようになります。

【ご注意】

複数を選択して放送文を複数選択した後に「単一」側にスライドさせると、すべて解除されます。

3 放送文を選択する。

放送文を放送したい順番で選択します。

3-1 状況に応じたカテゴリーをクリックする。

この例では [運転見合わせ] が選択されています。

カテゴリーの下の行に、[運転見合わせ] に登録されている放送文が表示されます。

3-2 カテゴリーに登録された放送文から放送したいものをクリックする。

ボタン左上のチェックが入り、放送文が選択されます。

選択した放送文の名称が放送文リスト表示欄に表示されます。

この例では [路線運転見合わせ] が選択されています。

3-3 手順 3-1 と 3-2 を繰り返して必要な放送文をすべて選択する。

放送文の名称は放送リストの一番下に追加されます。放送は放送リストの上から順番に行われます。

✕ モ

- 選択した放送文を削除するときは、削除したい放送文の左端にあるボックスをチェックし、放送文リスト左上の削除ボタンをクリックします。複数の放送文を選択して削除ボタンをクリックすると、一括して削除できます。
- 削除ボタンの左にあるボックスをクリックしてチェックすると、放送文すべてを選択できます。もう一度クリックすると選択がすべて解除されます。すべて選択された状態で削除ボタンをクリックするとすべての放送文を一括して削除できます。

4 必要に応じて、選択した放送文を編集する。

4-1 編集したい放送文の、リスト右端の「+」をクリックする。

「+」が「-」の表示になり、放送文が表示されます。



4-2

編集できる箇所は、アイコンと共に橙色で表示されています。

4-2 編集できる箇所をクリックする。

次の編集画面が表示されます。

クリックした内容と入れ換えできる候補が一覧で画面下側に表示されます。



4-3 入れ換えたい内容をクリックする。

内容が入れ換わります。

4-4 他に編集したい箇所がある場合は、編集画面で該当箇所をクリックする。

クリックした内容と入れ換えできる候補が一覧で画面下側に表示されます。

4-5 入れ換えたい内容をクリックする。

内容が入れ換わります。

4-6 手順 4-4 と 4-5 を繰り返して必要箇所をすべて編集する。

4-7 完了ボタンをクリックする。

4-8 リスト右端の「-」をクリックする。

「-」が「+」の表示になり、リスト表示に戻ります。

4-9 手順 4-1 ～ 4-8 を繰り返して、必要箇所をすべて編集する。

画面左下の「初期値に戻す」ボタンをクリックすると、編集中の放送文が納入時の状態に戻ります。

5 必要に応じて、放送先の設定を行う。

5-1 放送先タブをクリックする。

放送先の設定画面が表示されます。

ご注意

放送先設定 (P. 50) の出力先が「ヘッドホン」のときは、放送先タブは表示されません。

5-2 放送する放送先をクリックする。

クリックした放送先名の左上に橙色でチェックマークが表示されます。

× モ

- 画面右下の全選択ボタンをクリックすると、すべての放送先が選択されます。
- 画面右下のクリアボタンをクリックすると、放送先の選択が解除されます。



6 必要に応じて、放送言語と繰り返しの設定を行う。

6-1 言語・繰り返しタブをクリックする。

放送言語と繰り返しの設定画面が表示されます。

6-2 放送言語と繰り返しの設定を行う。

設定内容は次の表のとおりです。

項目	設定内容
言語	<p>放送する言語を選択して設定します。 複数選択もできます。複数選択した場合、左側に表示された言語から順番に連続して放送されます。</p> <p>× モ</p> <p>複数選択した場合、放送は言語ごとに行われます。 P. 11 の例の場合、放送文を 2 つ選択したときは、日本語①（日本語の 1 つ目の放送文）→日本語②→英語①→英語②→中国語①→中国語②→韓国語①→韓国語②の順番で放送されます。</p>
繰り返し回数	<p>放送を繰り返す回数を設定します。 「なし」「2 回」「∞」から選択します。 「∞」に設定すると、手動で停止するまで繰り返して放送します。</p> <p>× モ</p> <p>複数の言語を選択し、放送文を 2 つ選択しているときは、各言語で放送文が 2 つ放送され、それが各言語で順番に放送されます。その内容が繰り返し放送されます。</p> <p>🔍 下記動作例</p>
繰り返し間隔	<p>「繰り返し回数」の設定が「2 回」または「∞」になっている場合、放送が終了した後に次の放送が開始するまでの間隔を設定します。 「なし」「10 秒」「30 秒」「60 秒」から選択します。</p>

下記の設定の場合の動作例：

①日本語と英語を選択、②放送文が 2 つ、③「繰り返し回数」が 2 回、④「繰り返し間隔」が 10 秒



× モ

上記「A」の間隔は、手順 8 で設定します。

7 放送時のチャイムをオフにするときは、チャイムスイッチをクリックする。

チャイムスイッチがスライドしてオフになります。

ご注意

チャイムを使用しない設定になっているときは、スイッチが表示されません。(P. 54 「チャイム設定のしかた」)

メモ

- チャイムをオンにするときは、スイッチをもう一度クリックします。
- チャイムスイッチがオン（緑色）になっており、かつ放送を繰り返す設定（上記「繰り返し回数」）になっているときは、チャイムは放送を繰り返すごとに鳴ります。

8 必要に応じて、放送文間の間隔を設定する。

前ページ動作例の「A」の間隔の調節です。

－ボタンをクリックすると短くなり、＋ボタンをクリックすると長くなります。設定された秒数が－ボタンと＋ボタンの間に表示されます。

1回クリックして調節できる秒数は、送りプルダウンメニューから選択して設定します。プルダウンメニューは、「0.1秒」「1.0秒」「5.0秒」「10.0秒」から選択できます。



9 試聴するときは、試聴ボタンをクリックする。

音声は、タブレット端末のヘッドホン端子または内蔵スピーカーから出力されます。

試聴中は試聴ボタンに代わり、試聴停止ボタンが表示されます。試聴を途中で停止したいときは、試聴停止ボタンをクリックしてください。

ご注意

- バージョンが 2.1.0 より前の場合は試聴できません。(P. 68 「バージョン情報の表示」)
- 放送先設定で音声出力が「ネットワーク」に設定されているときのみ有効です。音声出力が「ヘッドホン」に設定されているときは、ボタンが表示されません。(P. 50 「放送先設定のしかた」)

10 放送開始ボタンをクリックする。

放送が開始されます。

繰り返し設定が「なし」または「2回」のときは、放送が終了すると自動的に停止します。

放送を途中で停止したいときは、画面右上の放送停止ボタンをクリックしてください。

履歴から放送するとき

放送履歴から過去に放送した内容を選択して放送できます。
履歴からの選択のしかたには、次の4通りがあります。

- ・履歴リストから内容を選択する
- ・履歴リストを日付で絞り込んで選択する
- ・履歴リストをカテゴリで絞り込んで選択する
- ・履歴リストをキーワードで絞り込んで選択する

履歴リストから内容を選択して放送する

The screenshot shows the '履歴から放送' (Broadcast from History) screen. At the top, there are tabs for '履歴から放送' (1), 'スケジュールから放送', and '放送停止' (9). Below the tabs, there are filters for '日付' (Date), 'カテゴリ' (Category), and 'キーワード' (Keyword). A table lists broadcast items with columns for '日付' (Date), '時刻' (Time), 'カテゴリ' (Category), '放送内容' (Broadcast Content), '繰り返し回数/間隔' (Repeat Count/Interval), '放送言語' (Broadcast Language), and '放送先' (Broadcast Destination). A red box (2) highlights a selected item. Below the table, there is a '放送文' (Broadcast Text) editor (3-1) with a '編集' (Edit) button (6). To the right, there are settings for '放送先' (Broadcast Destination) and '言語・繰り返し' (Language/Repeat), including language selection (日, 英, 中, 韓) and repeat options (なし, 2回, ∞). At the bottom, there are buttons for '試聴' (7), '放送開始' (8), and '放送停止' (9).

1 [履歴から放送] タブをクリックする。

2 表示された履歴リストから放送したい内容をクリックする。
選択された内容が橙色に反転し、放送文が放送文表示欄に表示されます。

3 必要に応じて、選択した放送文を編集する。
編集できる箇所は、アイコン  と共に橙色で表示されています。

3-1 編集できる箇所をクリックする。

次の編集画面が表示されます。

クリックした内容と入れ換えできる候補が、一覧で画面下側に表示されます。



3-2 入れ換えたい内容をクリックする。

内容が入れ換わります。

3-3 他に編集したい箇所がある場合は、編集画面で該当箇所をクリックする。

クリックした内容と入れ換えできる候補が一覧で画面下側に表示されます。

3-4 入れ換えたい内容をクリックする。

内容が入れ換わります。

3-5 手順 3-3 と 3-4 を繰り返して必要箇所をすべて編集する。

3-6 完了ボタンをクリックする。

× 毛

- 放送文表示部の右上部にある編集ボタンをクリックしても編集画面が表示されます。その場合も、上記と同様の手順で放送文を編集してください。
- 画面左下の「初期値に戻す」ボタンをクリックすると、編集中の放送文が納入時の状態に戻ります。

4 必要に応じて、放送先の設定を行う。

4-1 放送先タブをクリックする。

放送先の設定画面が表示されます。

ご注意

放送先設定 (P. 50) の出力先が「ヘッドホン」のときは、放送先タブは表示されません。

4-2 放送する放送先をクリックする。

クリックした放送先名の左上に橙色でチェックマークが表示されます。

× 毛

- 画面右下の全選択ボタンをクリックすると、すべての放送先が選択されます。
- 画面右下のクリアボタンをクリックすると、放送先の選択が解除されます。



5 必要に応じて、放送言語と繰り返しの設定を行う。

5-1

5-1 言語・繰り返しタブをクリックする。

放送言語と繰り返しの設定画面が表示されます。



5-2

5-2 放送言語と繰り返しの設定を行う。

設定内容は次の表のとおりです。

項目	設定内容
言語	放送する言語を選択して設定します。 複数選択もできます。複数選択した場合、左側に表示された言語から順番に連続して放送されます。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> P. 15 の例の場合、日本語→英語→中国語→韓国語の順番で放送されます。
繰り返し回数	放送を繰り返す回数を設定します。 「なし」「2回」「∞」から選択します。 「∞」に設定すると、手動で停止するまで繰り返して放送します。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 複数の言語が選択されているときは、各言語で1回ずつ放送され、それが繰り返し放送されます。
繰り返し間隔	「繰り返し回数」の設定が「2回」または「∞」になっている場合、放送が終了した後に次の放送が開始するまでの間隔を設定します。 「なし」「10秒」「30秒」「60秒」から選択します。

6 放送時のチャイムをオフにするときは、チャイムスイッチをクリックする。

チャイムスイッチがスライドしてオフになります。

ご注意

チャイムを使用しない設定になっているときは、スイッチが表示されません。(P. 54 「チャイム設定のしかた」)

- チャイムをオンにするときは、スイッチをもう一度クリックします。
- チャイムスイッチがオン（緑色）になっており、かつ放送を繰り返す設定（上記「繰り返し回数」）になっているときは、チャイムは放送を繰り返すごとに鳴ります。

7 試聴するときは、試聴ボタンをクリックする。

音声は、タブレット端末のヘッドホン端子または内蔵スピーカーから出力されます。

試聴中は試聴ボタンに代わり、試聴停止ボタンが表示されます。試聴を途中で停止したいときは、試聴停止ボタンをクリックしてください。

ご注意

- バージョンが2.1.0より前の場合は試聴できません。(P. 68 「バージョン情報の表示」)
- 放送先設定で音声出力が「ネットワーク」に設定されているときのみ有効です。音声出力が「ヘッドホン」に設定されているときは、ボタンが表示されません。(P. 50 「放送先設定のしかた」)

8 放送開始ボタンをクリックする。

放送が開始されます。

くり返し設定が「なし」または「2回」のときは、放送が終了すると自動的に停止します。
放送を途中で停止したいときは、画面右上の放送停止ボタンをクリックしてください。

9 履歴更新ボタンをクリックする。

履歴リストが更新され、今回の放送が履歴リストに追加されます。

■ 履歴リストを日付で絞り込んで選択する

放送履歴からスケジュールイベントを選択して放送するとき、カレンダーで日付を選択し、その日付で履歴リストを絞り込むことができます。



1 [履歴から放送] タブをクリックする。

2 カレンダーボタンをクリックする。
カレンダーが表示されます。

3 選択したい日付をクリックする。
クリックした日付の履歴が表示されます。

4 表示された履歴リストから放送したい内容をクリックする。
選択された内容が橙色に反転し、放送文が放送文表示欄に表示されます。

5 「履歴リストから内容を選択して放送する」の手順3 (👉 P. 15) 以降と同様の手順で放送する。

■ 履歴リストをカテゴリーで絞り込んで選択する

放送履歴からスケジュールイベントを選択して放送するとき、カテゴリーで履歴リストを絞りこむことができます。



1 [履歴から放送] タブをクリックする。

2 カテゴリープルダウンメニューから絞り込みたいカテゴリーを選択する。
放送内容に、選択したカテゴリーの履歴のみが表示されます。

3 表示された履歴リストから放送したい内容をクリックする。
選択された内容が橙色に反転し、放送文が放送文表示欄に表示されます。

4 「履歴リストから内容を選択して放送する」の手順3 (P. 15) 以降と同様の手順で放送する。

■ 履歴リストをキーワードで絞り込んで選択する

放送履歴からスケジュールイベントを選択して放送するとき、キーワードで履歴リストを絞りこむことができます。



1 [履歴から放送] タブをクリックする。

2 キーワード欄にキーワードを入力し、検索ボタンをクリックする。
放送内容に、入力したキーワードを含む履歴のみが表示されます。

3 表示された履歴リストから放送したい内容をクリックする。
選択された内容が橙色に反転し、放送文が放送文表示欄に表示されます。

4 「履歴リストから内容を選択して放送する」の手順3 (P. 15) 以降と同様の手順で放送する。

✕ モ

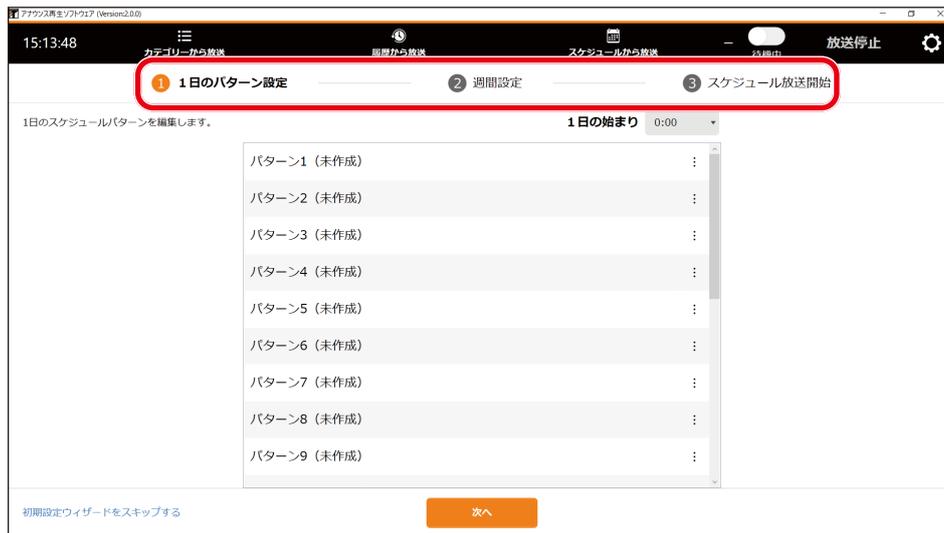
絞り込み結果の表示をリセットしたいときは、キーワード欄を空白にして、検索ボタンをクリックしてください。

スケジュールを新規作成するとき

初めてスケジュールを作成する場合は、初期設定ウィザードで各種設定を行います。スケジュールを作成した後に初期設定ウィザードを表示するには、スケジュールデータの消去（ P. 71）が必要です。

■ 初期設定ウィザードでの設定の流れ

初期設定ウィザードでの設定は、次のような流れで行います。



1. 1日のパターン設定

スケジュールパターンは 20 個作成できます。

2. 週間設定

作成したスケジュールパターンを曜日ごとに設定できます。

3. スケジュール放送開始

週間設定したスケジュールの運用を開始します。

スケジュールデータをインポートする場合（P. 46）は、初期設定を完了するか、画面左下の「初期設定ウィザードをスキップする」をクリックしてください。スケジュール運用画面に移動します。

■ 1日のパターンを設定する

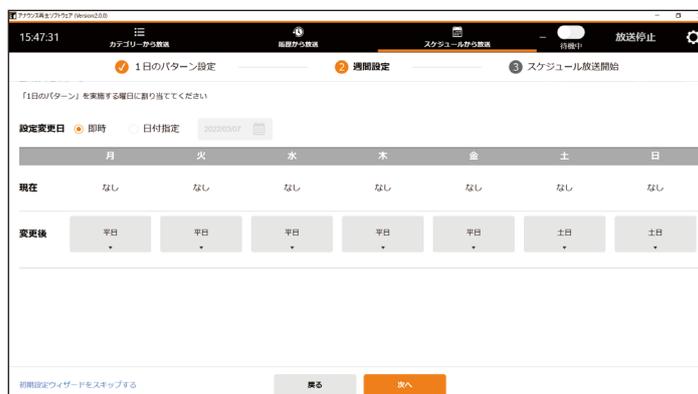
初めてこのソフトウェアを起動（P.5）すると、次の画面が表示されます。「1日のパターン設定」画面で、パターンの設定を行います。パターンの設定は、スケジュールイベントを追加、編集、削除して行います。1日のパターンは20件作成できます。



詳しい設定のしかたは、P.36をお読みください。

■ 週間設定を行う

作成したパターンを使用して、週間のスケジュールを設定します。



詳しい設定のしかたは、P.44をお読みください。

■ スケジュール放送を開始する

必要な設定が完了した後、スケジュール放送を開始します。

1 開始スイッチをクリックする。

表示が「待機中」から「実行開始」に変わります。



2 設定完了ボタンをクリックする。

スケジュール運用画面が表示され、スケジュール放送が開始します。



メモ

週間設定を完了してこのソフトウェアを終了させた後、再度ソフトウェアを起動すると、自動的にスケジュール放送が開始します。

スケジュールから放送するとき

事前に登録したスケジュールに沿って放送できます。スケジュールは編集できます。

メモ

事前に1日のパターン設定 (P. 36) および週間設定 (P. 44) をしてください。

スケジュールからの放送には、次の2通りがあります。

- ・自動放送：スケジュールから放送を実行中にしておくと、放送開始時間になると自動的に放送が開始されます。
- ・手動放送：スケジュールから放送を待機中にして、スケジュールイベントを選択して放送します。

ご注意

- 下記の状態では、手動放送と自動放送を切り換えることはできません。
 - ・初期設定ウィザード実行中
 - ・放送中
 - ・スケジュールを本日限りで編集中
 - ・パターン編集中
 - ・週間設定中
- スケジュールから放送するときは、チャイム設定 (P. 54) のとおりにチャイムが鳴ります。チャイム設定が鳴らす設定で、かつチャイムを鳴らさないで放送したいスケジュールイベントがあるときは、該当のイベント編集画面 (P. 39) で「チャイム OFF」の設定をしてください。

メモ

チャイム設定 (P. 54) が鳴らす設定で、かつ放送を繰り返す設定 (P. 40 の手順 6) になっているときは、チャイムは放送を繰り返すごとに鳴ります。

■ 自動放送のしかた

自動的に放送ができるようにします。

1 スケジュール状態スイッチを ON にする。

スケジュール状態スイッチをクリックするたびに ON/OFF が切り換わります。

ON のとき : 

OFF のとき : 

スケジュール状態スイッチを ON にすると、下記のように放送開始時間になると自動的に放送が開始します。

画面では、放送済みのスケジュールイベントはグレーで表示されます。これから放送される予定のスケジュールイベントは、赤いラインから下に表示されます。



通知	放送開始	放送文	回数/間隔	放送番組	放送先
発車前放送 まもなく発車	16:05	ご案内申し上げます。7時10分発、TOA行きバスは、間もなく発車いたします。	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3
発車直前放送 乗り場案内2	16:08	ご案内申し上げます。7時10分発、TOA行きバス、乗車券をお持ちのお客様はご注意ください。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
発車直前放送 乗り場案内1	16:10	スチーフーン お客様の音が聞こえにくいため、TOA行きバスを待たせておきます。お預かりできる手荷物はお預けください。	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3
到着案内 まもなく到着	16:30	ご案内申し上げます。7時50分発、ティーオーエー行きバスは、間もなく到着いたします。	2回/60秒	日/英/中/韓	1,2,3
発車前放送 乗り場案内1	16:40	ご案内申し上げます。7時50分発、ティーオーエー行きバス、ご利用のお客様は、たいはいからTOA乗り場へお越しください。	2回/60秒	日/英/中/韓	1,2,3
発車前放送 まもなく発車	16:45	ご案内申し上げます。7時50分発、ティーオーエー行きバスは、間もなく発車いたします。	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3
発車直前放送 乗り場案内2	16:47	ご案内申し上げます。7時50分発、ティーオーエー行きバス、乗車券をお持ちのお客様はおききTOA...	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3

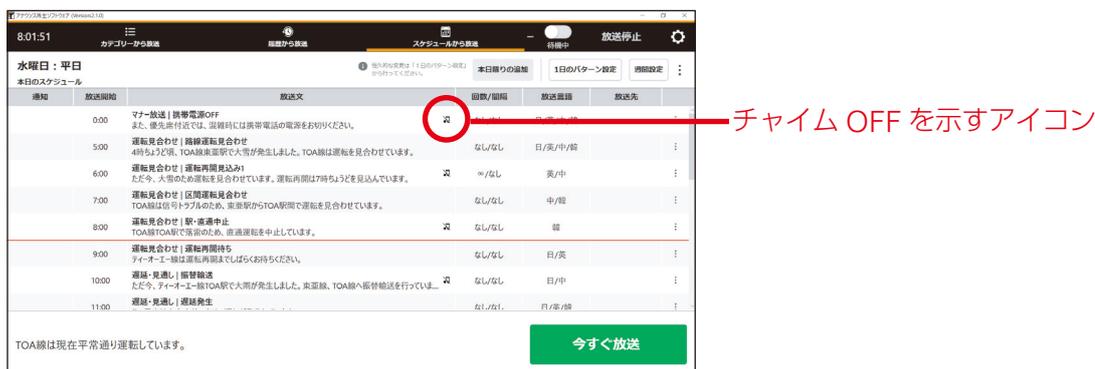
放送済みのスケジュールイベント

これから放送されるスケジュールイベント

放送開始時間になると、自動的に放送が開始し、所定の内容を放送すると終了します。

ご注意

チャ임 OFF を示すアイコンが表示されているとき、該当のスケジュールイベントではチャ임が鳴りません。(P. 39 「スケジュールイベントの編集のしかた」)



通知	放送開始	放送文	回数/間隔	放送番組	放送先
マナー放送 携帯電話の電源OFF	0:00	また、乗車中は、周囲には携帯電話の電源をお断りください。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
運転見合わせ 路線運転見合わせ	5:00	4時30分頃、TOA線東区間で大雪が発生しました。TOA線は運転を見合わせています。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
運転見合わせ 運転再開見込み1	6:00	ただ今、大雪のため運転を見合わせています。運転再開は7時30分を見込んでいます。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
運転見合わせ 区間運転見合わせ	7:00	TOA線区間運行のため、東区間からTOA線区間で運転を見合わせています。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
運転見合わせ 駅・区間運転見合わせ	8:00	TOA線TOA駅で降雪のため、区間運転を中止しています。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
運転見合わせ 運転再開待ち	9:00	ティーオーエー線は運転再開までしばらくお待ちください。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
遅延・見直し 区間輸送	10:00	ただ今、ティーオーエー線TOA駅で大雪が発生しました。東区間、TOA線へ区間輸送を行っています。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
遅延・見直し 遅延発生	11:00	TOA線は現在正常通り運転しています。	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3

チャ임 OFF を示すアイコン

2 放送を途中で停止させるときは、放送停止ボタンをクリックする。

放送が停止します。



3 必要に応じてスケジュールイベントを編集する。

スケジュールイベントを本日のみ変更したり、本日のみ放送したいスケジュールイベントを追加したりすることができます。手順の詳細は、「スケジュールを本日より変更するとき」(P. 31)をお読みください。

■ 手動放送のしかた

自動放送の運用を停止し、スケジュールイベントを選択して手動による放送に切り換えることができます。

1 スケジュール状態スイッチをクリックする。

手動放送に切り換わり、自動放送の運用が停止します。

(自動放送の状態)



(手動放送の状態)



2 表示中のスケジュールから放送したいスケジュールイベントをクリックする。

3 [今すぐ放送] ボタンをクリックする。

選択したスケジュールイベントが放送されます。所定の内容を放送すると終了します。

ご注意

チャイム OFF を示すアイコンが表示されているとき、該当のスケジュールイベントではチャイムが鳴りません。(P. 39 「スケジュールイベントの編集のしかた」)



4 放送を途中で停止させるときは、放送停止ボタンをクリックする。



5 必要に応じて、スケジュールイベントを編集する。

スケジュールイベントを本日のみ変更したり、本日のみ放送したいスケジュールイベントを追加したりすることができます。手順の詳細は、「スケジュールを本日限りで変更するとき」(P. 31)をお読みください。

× 月

手動で放送したスケジュールイベントの放送開始時刻が、自動放送運用に戻した時点で現在時刻を過ぎていない場合、放送開始時刻になると再度放送されます。

再度放送したくない場合は、自動放送運用に戻す前に除外イベントに設定をすると放送をスキップさせることができます。(P. 35「スケジュールイベントの除外のしかた」)



■ 通知列の表示

放送されない、もしくは放送されなかったスケジュールイベントは、その理由が通知列に表示されます。

通知	放送開始	放送文	回数/間隔	放送言語	放送先
	16:10	スーツケース お荷物お預かり お客様にお願いいたします。バスにはトランクルームを設けておりますが、お預かりできる手荷物は原則...	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3
強制スキップ	16:20	スーツケース お荷物お預かり お客様にお願いいたします。バスにはトランクルームを設けておりますが、お預かりできる手荷物は原則...	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3
手動停止	16:30	到着案内 まもなく到着 ご案内申し上げます。7時50分発、ティーオーエー行きバスは、間もなく到着いたします。	2回/60秒	日/英/中/韓	1,2,3
放送文なし	16:40		2回/60秒		1,2,3
除外イベント	16:45	発車前放送 まもなく発車 ご案内申し上げます。7時50分発、ティーオーエー行きバスは、間もなく発車いたします。	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3
	16:47	発車前放送 乗り場案内2 ご案内申し上げます。7時50分発、ティーオーエー行きバス、乗車券をお持ちのお客様はお急ぎTOA...	なし/なし	日/英/中/韓	1,2,3
時刻重複	16:47	発車前放送 まもなく発車 ご案内申し上げます。0時51分発、TOA行きバスは、間もなく発車いたします。	2回/60秒	日/英/中/韓	1,2,3
	17:05	発車前放送 まもなく発車 ご案内申し上げます。7時10分発、TOA行きバスは、間もなく発車いたします。	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3

お客様にお願いいたします。バスにはトランクルームを設けておりますが、お預かりできる手荷物は原則としてお一人様につきスーツケース1つ程度までとさせていただきます。お客様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

通知列の表示	説明
放送文なし	スケジュールイベントに設定されている放送文がないため放送されません。該当する放送文を含むアナウンスデータに更新、または別の放送文を設定してください。
除外イベント	本日のスケジュールから除外されたスケジュールイベントです。本日は放送されません。放送したい場合は除外解除してください。
時刻重複	放送時刻が同時刻のスケジュールイベントが2つ以上あります。2つ目以降のスケジュールイベントが時刻重複と表示され放送されません。1つ目のスケジュールイベントを除外することで2つ目のスケジュールイベントを放送することができます。
放送失敗	ネットワークの問題により放送できませんでした。ネットワーク環境および設定を確認してください。
強制停止	次のスケジュールイベントの放送開始時刻となったため、放送中の放送を強制停止しました。
強制スキップ	スケジュールが待機中であったため、自動放送されませんでした。
手動停止	手動操作により放送を停止しました。

スケジュールを本日限りで変更するとき

スケジュールを本日限りで変更する場合は、下記の手順でスケジュールイベントを追加・編集します。ここで追加・編集した内容は、「1日のパターン設定」画面で設定した「1日の始まり」時刻（P.36）を過ぎると、すべて破棄されます。

編集には、下記のボタンと「:」アイコンのメニュー項目の機能を使用します。



操作項目	内容	参照先
本日限りの追加	クリックすると、イベント編集画面が表示され、スケジュールイベントを追加できます。	P.32
編集	作成済みのスケジュールイベントの設定を変更します。	P.33
コピーして作成	作成済みのスケジュールイベントと同じ設定で新たにスケジュールイベントを作成します。必要に応じて設定を変更できます。	P.34
除外	本日のみ放送ないように設定します。	P.35

■ スケジュールイベントの追加のしかた

本日限りで放送するスケジュールイベントを追加します。

手順：スケジュール運用画面で、[本日限りの追加] ボタンをクリックする。



イベント編集画面が表示されます。

追加する内容を編集します。
編集のしかたは P. 39 をお読みください。



■ スケジュールイベントの編集のしかた

スケジュールイベントの内容を、本日よりで編集して変更します。

ご注意

自動放送中は、開始時刻を過ぎたスケジュールイベントの編集はできません。

手順：スケジュール運用画面で、編集するスケジュールイベント行の右端の「⋮」アイコンをクリックして表示されるメニューから「編集」を選択する。



イベント編集画面が表示されます。

変更する内容を編集します。
編集のしかたは P. 39 をお読みください。



■ スケジュールイベントのコピーのしかた

本日限りで放送するスケジュールイベントを、作成済みのスケジュールイベントをコピーして作成します。

手順：スケジュール運用画面で、編集するスケジュールイベント行の右端の「⋮」アイコンをクリックして表示されるメニューから「コピーして作成」を選択する。



イベント編集画面が表示されます。

変更する内容を編集します。
編集のしかたは P. 39 をお読みください。



■ スケジュールイベントの除外のしかた

スケジュールイベントを、本日のみ放送しないように設定します。

手順：スケジュール運用画面で、除外するスケジュールイベント行の右端の「⋮」アイコンをクリックして表示されるメニューから「除外」を選択する。



通知列に「除外イベント」と表示され、設定したスケジュールイベントが除外されます。

メモ

「除外イベント」と表示されているスケジュールイベントの「⋮」アイコンをクリックすると、上記手順の「除外」の表示が「除外解除」に変わっています。「除外解除」をクリックすると、除外が解除され、スケジュールイベントが設定どおりに放送されます。



スケジュールを変更するとき

■ 1日のパターンを設定する

手順：スケジュール運用画面で、「1日のパターン設定」ボタンをクリックする。



時刻	放送開始	放送文	回数/回隔	放送開始	放送先
16:40	発車前放送 乗り場案内1 ご案内申し上げます。7時50分発、ティオーエー行きバス、ご利用のお客様は、たらいほからTOA乗り...		2回/60秒	日/実/中/鐘	1,2,3
16:45	発車前放送 まもなく発車 ご案内申し上げます。7時50分発、ティオーエー行きバスは、間もなく発車いたします。		2回/10秒	日/実/中/鐘	1,2,3
16:47	発車直前放送 乗り場案内2 ご案内申し上げます。7時50分発、ティオーエー行きバス、乗車券をお持ちのお客様はおき定TOA...		なし/なし	日/実/中/鐘	1,2,3
17:00	発車前放送 乗り場案内1 ご案内申し上げます。7時10分発、TOA行きバス、ご利用のお客様は、たらいほから乗車乗り場より...		2回/60秒	日/実/中/鐘	1,2,3
17:05	発車前放送 まもなく発車 ご案内申し上げます。7時10分発、TOA行きバスは、間もなく発車いたします。		2回/10秒	日/実/中/鐘	1,2,3
17:08	発車直前放送 乗り場案内2 ご案内申し上げます。7時10分発、TOA行きバス、乗車券をお持ちのお客様はおき定乗車乗り場よ...		なし/なし	日/実/中/鐘	1,2,3
17:10	ステップス お荷物お預け お客様に預けたい物があります。バスにはトランクルームを設けておりますが、お預けできる手荷物は原則...		2回/10秒	日/実/中/鐘	1,2,3
17:20	ステップス お荷物お預け お客様に預けたい物があります。バスにはトランクルームを設けておりますが、お預けできる手荷物は原則...		2回/10秒	日/実/中/鐘	1,2,3

「1日のパターン設定」画面が表示されます。「1日のパターン設定」画面では次の操作が行えます。

- ・ 1日の始まりを設定する (P. 42 次項)
- ・ 1日のパターンを編集する (P. 37)
- ・ 1日のパターンをコピーする (P. 43)



1日のスケジュールパターンを編集します。

1日の始まり 0:00

- 平日
- 土日
- パターン3 (未作成)
- パターン4 (未作成)
- パターン5 (未作成)
- パターン6 (未作成)
- パターン7 (未作成)
- パターン8 (未作成)
- パターン9 (未作成)
- パターン10 (未作成)
- パターン11 (未作成)

■ 1日の始まりを設定する

「1日のパターン設定」画面で、「1日の始まり」時刻の設定を行います。

手順：「1日の始まり」プルダウンメニューで、「1日の始まり」時刻を選択する。
ここで設定した時刻で日付が切り換わります。

設定範囲：0:00～23:00、1時間単位
(初期設定：0:00)



1日のスケジュールパターンを編集します。

1日の始まり 0:00

- 平日
- 土日
- パターン3 (未作成)
- パターン4 (未作成)
- パターン5 (未作成)
- パターン6 (未作成)
- パターン7 (未作成)
- パターン8 (未作成)
- パターン9 (未作成)
- パターン10 (未作成)
- パターン11 (未作成)

■ 1日のパターンを編集する

「1日のパターン設定」画面で、パターンの編集を行います。
 パターンの編集は、スケジュールイベントを追加、編集、削除して行います。
 1日のパターンは20件作成できます。

1 「1日のパターン設定」画面で、編集するパターンをクリックする。



パターン編集画面が表示されます。

2 パターン名称を変更する。

入力できる文字数は最大 31 文字です。

【ご注意】

- 次の半角および全角文字は使用できません。
 ” < > ¥ ? [] / * | :
- 週間設定に設定されているパターンの名称は変更できません。



3 スケジュールイベントを編集する。

必要に応じて、パターンに必要なスケジュールイベントをすべて作成します。
 編集には、下記のボタンと「:」アイコンのメニュー項目の機能を使用します。



それぞれの内容は次のとおりです。

操作項目	内容	参照先
まとめて削除	チェックボックスで複数選択したスケジュールイベントをまとめて削除します。	P. 41
追加	追加ボタンをクリックすると、イベント編集画面が表示され、スケジュールイベントを追加できます。	P. 39
編集	作成済みのスケジュールイベントの設定を変更します。	P. 39
コピーして作成	作成済みのスケジュールイベントと同じ設定で新たにスケジュールイベントを作成します。必要に応じて設定を変更できます。	P. 41
繰り返し複製	作成済みのスケジュールイベントを一定の放送時刻間隔で連続して複製します。	P. 42
削除	スケジュールイベントを1つ削除します。	P. 41

ご注意

スケジュールイベントが次のように表示されている場合、そのスケジュールは自動放送されません。設定をご確認ください。

● 放送文なし

<input type="checkbox"/>	7:00	2回/60秒	1,2,3	⋮
--------------------------	------	--------	-------	---

スケジュールイベントに設定されている放送文がないため放送されません。
該当する放送文を含むアナウンズデータに更新、または別の放送文を設定してください。

● 時刻重複

<input type="checkbox"/>	7:05	発車前放送 まもなく発車 ご案内申し上げます。7時10分発、TOA行きバスは、間もなく発車いたします。	2回/10秒	日/英/中/韓	1,2,3	⋮
--------------------------	------	--	--------	---------	-------	---

放送時刻が同時刻のスケジュールイベントが2つ以上あります。
2つ目以降のスケジュールイベントは赤字で表示されて自動放送されません。スケジュールイベントの放送時刻を変更してください。

4 「更新」をクリックする。

編集したパターンの内容が保存されます。
パターンに必要なスケジュールイベントが追加されました。

5 手順1～4を繰り返して必要なパターンをすべて作成する。

× 月

パターンはコピーしたものを編集し、新しいパターンとして使用できます。
コピーのしかたは次ページの「1日のパターンをコピーする」をお読みください。

■ スケジュールイベントの追加のしかた

スケジュールイベントを追加します。

手順：パターン編集画面で、追加ボタンをクリックする。



イベント編集画面が表示されます。
追加する内容を編集します。
編集のしかたは P. 39 をお読みください。



■ スケジュールイベントの編集のしかた

スケジュールイベントをイベント編集画面で編集します。

1 イベント編集画面を表示させる。

2 放送文を選択する。

2つあるカテゴリーのプルダウンメニューで選択します。
放送文が放送文表示欄に表示されます。



3 必要に応じて、選択した放送文を編集する。

編集できる箇所は、アイコン  と共に橙色で表示されています。

3-1 編集できる箇所をクリックする。

クリックした内容と入れ換えできる候補が「放送内容の編集」画面に表示されます。

3-2 入れ換えたい内容をクリックする。

内容が入れ換わります。

3-3 手順 3-1 と 3-2 を繰り返して必要箇所をすべて編集する。

3-4 完了ボタンをクリックする。

編集した内容が保存され、イベント編集画面に戻ります。



4 必要に応じて、放送開始時刻を設定する。

「時」と「分」をプルダウンメニューから選択して設定します。

5 必要に応じて、放送する放送先をクリックして放送先の設定を行う。

ご注意

放送先設定 (P. 50) の出力先が「ヘッドホン」のときは、「放送先」は表示されません。

× モ

- 全選択ボタンをクリックすると、すべての放送先が選択されます。
- クリアボタンをクリックすると、放送先の選択が解除されます。

6 必要に応じて、「言語」「繰り返し回数」「繰り返し間隔」を設定する。

設定内容は次の表のとおりです。

項目	設定内容
言語	放送する言語を選択して設定します。 複数選択もできます。複数選択した場合、左側に表示された言語から順番に連続して放送されます。
繰り返し回数	放送を繰り返す回数を設定します。 「なし」「2回」「∞」から選択します。 「∞」に設定すると、手動で停止する、または次のスケジュールイベントの放送が開始されるまで、繰り返して放送します。 × モ 複数の言語が選択されているときは、各言語で1回ずつ放送され、それが繰り返し放送されます。
繰り返し間隔	「繰り返し回数」の設定が「2回」または「∞」になっている場合、放送が終了した後に次の放送が開始するまでの間隔を設定します。 「なし」「10秒」「30秒」「60秒」から選択します。

7 必要に応じて、「チャイム OFF」を設定する。

チャイム設定 (P. 54) が鳴らす設定で、かつこのスケジュールイベントでチャイムを鳴らさないで放送するときは、チェックボックスにチェックを入れて設定します。

ご注意

- バージョンが 2.1.0 より前の場合は設定できません。(P. 68 「バージョン情報の表示」)
- チャイム設定 (P. 54) が鳴らさない設定のときは、チェックボックスは表示されず、設定できません。

8 「完了」をクリックする。

編集したスケジュールイベントの内容が保存されます。



■ スケジュールイベントのコピーのしかた

- 1 コピーするスケジュールイベント行の右端の「:」アイコンをクリックして表示されるメニューから「コピーして作成」を選択する。

選択したスケジュールイベントの編集画面が表示されます。



- 2 放送開始時刻などを必要に応じて編集する。

スケジュールイベントの編集のしかたは P. 39 をお読みください。

■ スケジュールイベントを 1 件のみ削除するとき

- 1 削除するスケジュールイベント行の右端の「:」アイコンをクリックして表示されるメニューから「削除」を選択する。

「イベントを削除します。よろしいですか?」と表示されます。



- 2 OK ボタンをクリックする。

スケジュールイベントが削除されます。



■ 複数のスケジュールイベントをまとめて削除するとき

- 1 削除するスケジュールイベント行の左端のチェックボックスにチェックを入れる。

- 2 「まとめて削除」ボタンをクリックする。

「指定されたイベントをまとめて削除します。よろしいですか?」と表示されます。

- 3 OK ボタンをクリックする。

指定したすべてのスケジュールイベントが削除されます。



■ 連続した複数のスケジュールイベントを作成するとき

コピーするスケジュールイベントを元に、時刻範囲とイベント間隔を指定して連続した複数のコピーを作成することができます。

1 コピーするスケジュールイベント行の右端の「:」アイコンをクリックして表示されるメニューから「繰り返し複製」を選択する。



繰り返しして複製する設定画面が表示されます。

2 コピーを作成する時刻の終わり時刻を設定する。
「時」と「分」をプルダウンメニューから選択して設定します。



メモ

コピーを作成する開始時刻は、コピー元のスケジュールイベントの時刻です。

3 コピーを作成する間隔を設定する。
分数をプルダウンメニューから選択して設定します。
設定範囲: 01 ~ 60、1分単位 (初期設定: 5)



コピーされたイベントスケジュール

4 設定ボタンをクリックする。
指定した時刻の範囲と間隔で、複数のスケジュールイベントが作成されます。
スケジュールイベントの編集のしかたは [P. 39](#) をお読みください。

■ 1日のパターンをコピーする

パターンをコピーし、コピー先のパターンにペーストして複製します。
下記は、パターン1の内容をパターン5に複製する場合です。

ご注意

週間設定に設定済みのスケジュールパターンにペーストすることはできません。

- 1 コピーするパターン行の右端の「:」アイコンをクリックして表示されるメニューから「コピー」を選択する。



- 2 コピー先のパターン行の右端の「:」アイコンをクリックして表示されるメニューから「ペースト」を選択する。
「以下のスケジュールパターンの内容で上書きします。【コピー元のパターン名称】よろしいですか?」と表示されます。



- 3 OK ボタンをクリックする。
パターンがコピー先のパターンにコピーされます。

■ 週間設定を行う

作成したパターンを使用して、週間のスケジュールを設定します。

1 スケジュール運用画面で、週間設定ボタンをクリックする。



週間設定画面が表示されます。

2 設定変更日を設定する。

設定内容は次のとおりです。

即時： 内容が直ちに反映されます。

日付指定： 変更内容が指定した日付の1日の始まり時刻に反映されます。日付の選択は右側のカレンダーで行います。

× 月

「日付指定」を選択した場合、設定した内容が週間設定に反映される予定の日時が、変更後の内容の左下に表示されます。

設定した内容が反映された後、表示は消えます。

3 各曜日にパターンを設定する。

プルダウンメニューで設定するパターンを選択します。

× 月

「なし」を選択すると、その曜日にはスケジュール放送されません。

4 更新ボタンをクリックする。

設定した内容が更新されます。



その他の機能

スケジュール運用画面で、スケジュールデータのインポート（読み込み）／エクスポート（書き出し）ができます。

また、本日限りの変更をした場合に、1日のパターンを読み直して元のパターンに戻すことができます。この機能を使うには、「⋮」アイコンをクリックすると表示されるメニューを使用します。

ご注意

初期設定ウィザードには「⋮」アイコンは表示されません。初期設定ウィザードで上記の機能を使用する場合は、初期設定を完了するか、初期設定ウィザードをスキップしてください。



操作項目	内容	参照先
ファイルからインポート	スケジュールデータを既存のファイルからインポートします。	P. 46
ファイルへエクスポート	指定の場所へスケジュールデータをエクスポートします。	P. 47
本日のパターンを読み直す	本日のパターンを読み直すことができます。本日限りでスケジュールを変更した際に、すべて元のパターンに戻したいときなどに使用します。	P. 47

■ ファイルからインポートする

ご注意

- 自動放送中はインポートできません。
- インポートすると、本日のパターンも読み直され、本日限りで変更した内容は破棄されます。

1 スケジュール運用画面で、「⋮」アイコンをクリックし、表示されるメニューから「ファイルからインポート」を選択する。



確認画面が表示されます。

2 OK ボタンをクリックする。
エクスプローラー画面が表示されます。

3 インポートするファイルを選択する。

4 開くボタンをクリックする。
インポートされます。

■ ファイルへエクスポートする

- 1 スケジュール運用画面で、「⋮」アイコンをクリックし、表示されるメニューから「ファイルへエクスポート」を選択する。



エクスプローラー画面が表示されます。

- 2 保存するフォルダーを選択する。

× 毛

ファイル名は変更できます。初期ファイル名は、「schedule.db」です。

- 3 保存ボタンをクリックする。

エクスポートされます。

■ 本日のパターンを読み直す

- 1 スケジュール運用画面で、「⋮」アイコンをクリックし、表示されるメニューから「本日のパターンを読み直す」を選択する。



確認画面が表示されます。

- 2 OK ボタンをクリックする。

本日のパターンが読み直され、自動放送が再開します。

本日限りで変更したスケジュールの変更内容が破棄され、元のパターンとおりに放送されます。

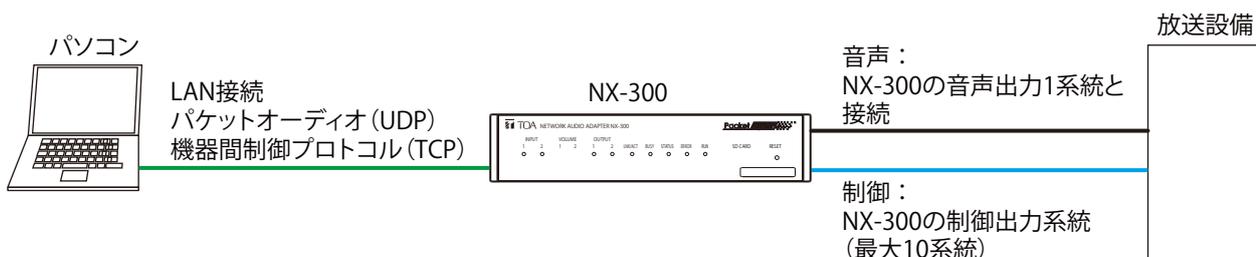
NX-300 との接続

■ 概要

このソフトウェアは、放送設備に設置した NX-300 と LAN 経由で接続することで、パケットオーディオ経由での音声出力が可能になります。

また、放送時に NX-300 の接点出力の制御をすることもでき、放送中ビジー出力によるアンプ起動や、放送先エリア選択などの設備との連携を行うことができます。

[接続イメージ]



放送設備に設置した NX-300 と LAN 経由で接続するときの設定は、[P. 50 「放送先設定のしかた」](#) をお読みください。

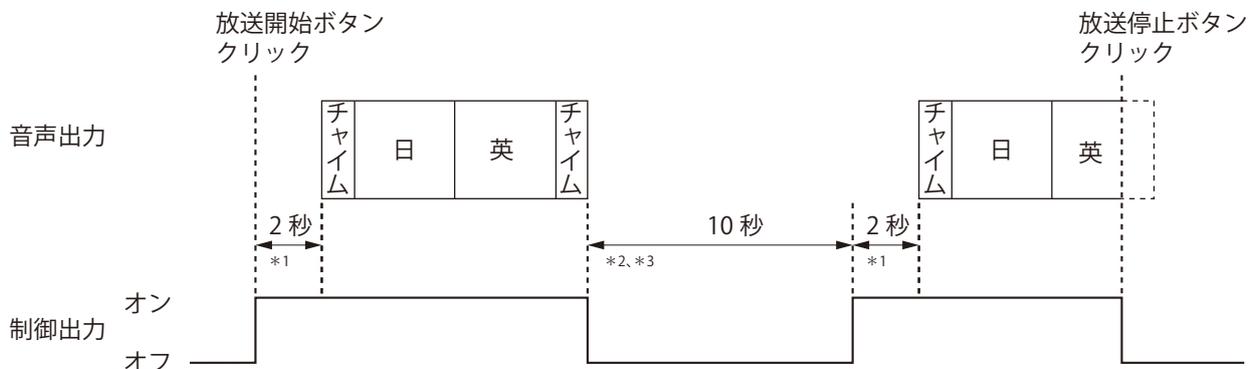
■ NX-300 の制御出力動作

LAN 経由で接続した NX-300 の制御出力は、このソフトウェアで放送開始ボタンをクリックしたときから放送が終了するときまでオンになります。ただし、設定などにより一時的にオフになる時間が生じる場合があります。

例えば、次のように設定されている場合は、下記の動作イメージ図のとおり動作します。

言語 : 日本語、英語
繰り返し回数 : ∞
繰り返し間隔 : 10 秒
遅延時間 : 2 秒
チャイム : 放送の前後に鳴らす

[動作イメージ]



*1 「放送先設定」(P. 50) の音声出力タブで設定した遅延時間です。この間は放送は開始しませんが、制御出力はオンになります。

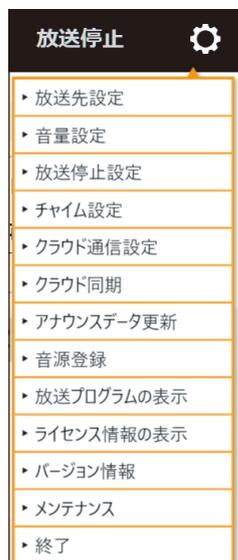
*2 繰り返しの設定 (P. 9、13、17、40) で設定した繰り返し間隔です。

*3 繰り返し間隔の設定が「10 秒」「30 秒」「60 秒」の場合は、それぞれの秒数間、制御出力がオフになります。「なし」の場合は 1 秒程度オフになります。

設定・確認のしかた

各種設定を行います。
設定アイコンをクリックすると、メニューが表示されます。

【メニュー】



各メニューの項目と設定内容は次の表のとおりです。

項目	設定内容	参照ページ
放送先設定	放送先を設定します。	P. 50
音量設定	タブレット端末の音声出力音量を設定します。	P. 52
放送停止設定	放送停止時の動作を設定します。	P. 53
チャイム設定	放送時にチャイムを鳴らすかどうかを設定します。	P. 54
クラウド通信設定	アナウンスクリエータークラウドへの接続確認と、クラウドで認証を受けるための設定を行います。	P. 55
クラウド同期	アナウンスクリエータークラウドとタブレット端末の同期を行います。	P. 57
アナウンズデータ更新	アナウンズデータの更新ができます。	P. 62
音源登録	お手持ちの音源ファイルを放送用に登録します。	P. 63
放送プログラムの表示	放送プログラムの状態を見ることができます。 また、ソフトウェアのログの確認もできます。	P. 66
ライセンス情報の表示	ライセンス情報が確認できます。 また、ライセンスファイルの読み込みもできます。	P. 67
バージョン情報	バージョン情報を確認できます。	P. 68
メンテナンス	アナウンズデータ、履歴、スケジュールデータの消去ができます。	P. 69

■ 放送先設定のしかた

放送先を設定します。タブレット端末のヘッドホン端子から放送するか、LAN 経由で NX-300 と接続して放送するかで設定項目が異なります。

1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「放送先設定」をクリックする。

放送先設定画面が表示されます。

ご注意

アナウンスデータが設定されていないときは、グレーアウトして選択できません。



2 音声出力の設定を行う。

2-1 音声出力タブをクリックする。

2-2 各項目を設定する。

設定内容は次の表のとおりです。



項目	内容	設定範囲	初期値
出力先	出力先を選択します。 タブレット端末のヘッドホン出力端子から出力する場合は「ヘッドホン」を選択します。 LAN 経由で NX-300 と接続して放送する場合は「ネットワーク」を選択します。 ご注意 「ヘッドホン」を選択した場合、以下の設定項目はすべて非表示になり、設定できません。	ヘッドホン、ネットワーク	ヘッドホン
アドレス	接続先の NX-300 の IP アドレスを入力します。	—	192.168.1.1
音声出力チャンネル	接続先の NX-300 の音声出力先を選択します。	1、2	1
音量 [dB]	NX-300 に送信する音量を設定します。	0、-3、-6、-9、-12、-15、-18、-21	0
遅延時間 [秒]	制御出力を行ってから放送を開始するまでの遅延時間を設定します。	0 ~ 99	0
音声圧縮	音声出力時の音声圧縮を有効にするかどうかを設定します。	ON (有効)、OFF (無効)	ON
サンプリング周波数 [kHz]	放送時のサンプリング周波数を設定します。	16、32、48	32
機器間制御ポート	接続先の NX-300 の機器間制御ポートを設定します。	1 ~ 65535	35285
UDP 開始ポート	接続先の NX-300 の UDP 開始ポートを設定します。	1 ~ 65535	5000

3 制御出力の設定を行う。

3-1 制御出力タブをクリックする。

3-2 各項目を設定する。

設定内容は次の表のとおりです。



項目	内容		設定範囲	初期値
用途	放送画面の放送先タブの表示を設定します。		最大 7 文字	放送先
常時ビジー出力	放送時に必ずビジー出力を行う制御出力番号を設定します。制御出力 10 にすると、放送時に NX-300 の CONTROL OUTPUT 10 がメイクされます。		しない、 制御出力 10	しない
ボタン表示	ON/OFF スイッチ	放送画面の放送先選択画面に表示させる制御出力のボタン表示を設定します。ボタン 1～9 が、それぞれ NX-300 の CONTROL OUTPUT 1～9 に対応します。 表示させる制御出力番号のスイッチをクリックしてスライドさせると、スイッチが ON (緑色) になり、放送画面に表示されます。	ON (表示する)、 OFF (表示しない)	OFF
	名称入力部	ボタンの名称を設定します。 × 毛 途中で改行することもできます。	文字数制限 なし	—

× 毛

上記「用途」と「ボタン表示」の表示箇所は次のとおりです。

[放送画面右下]



4 OK ボタンをクリックする。

設定内容が保存され、放送先設定画面が閉じます。

× 毛

設定内容を保存せずに放送先設定画面を閉じるときは、キャンセルボタンをクリックするか、右上の×ボタンをクリックします。

■ 音量設定のしかた

パソコンのヘッドホン出力端子からの音声を放送する場合に、端末の音声出力音量を設定します。

メモ

この操作を行うと、パソコンのシステム音量が変更されます。

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「音量設定」をクリックする。



音量設定画面が表示されます。

ご注意

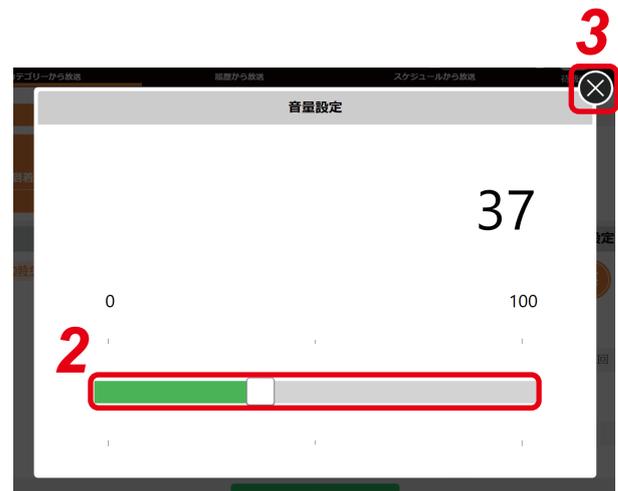
放送先設定で音声出力が「ネットワーク」に設定されているときは、グレーアウトして選択できません。

- 2 フェーダーのつまみをドラッグして、任意の音量に設定する。

フェーダーの右上に、設定した音量が数値で表示されます。

- 3 右上の×ボタンをクリックする。

音量設定画面が閉じます。



■ 放送停止設定のしかた

放送停止時の動作を設定をします。

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「放送停止設定」をクリックする。



放送停止設定画面が表示されます。

2 設定を行う。

2-1 放送停止時の動作を設定する。

どちらかのボタンをクリックして設定します。

すぐに停止する：

放送停止の操作後、すぐに放送が停止します。

放送中の言語を放送して停止する：

放送停止の操作時点で再生している放送文の言語の再生終了後に放送が停止します。



2-2 フェードアウト機能を使用するときは、フェードアウトスイッチをクリックする。

スイッチが右側にスライドして、機能が有効になります。

ご注意

- フェードアウト機能は「放送停止時の動作」で「すぐに停止する」が選択されているときのみ有効です。
- 放送先設定で音声出力が「ネットワーク」に設定されているときは、フェードアウトのスイッチは表示されません。

3 右上の×ボタンをクリックする。

放送停止設定画面が閉じます。

■ チャイム設定のしかた

放送時にチャイムを鳴らすかどうかを設定します。

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「チャイム設定」をクリックする。



チャイム設定画面が表示されます。

- 2 チャイムを鳴らすタイミングを設定する。

放送前に鳴らしたいときは「放送前」スイッチを、放送後に鳴らしたいときは「放送後」スイッチをクリックしてスライドさせます。クリックすると、チャイムがオンの設定になり、スイッチが緑色になります。

× モ

- チャイムスイッチは、初期設定ではオフ（グレー）になっています。
- 放送の前後にチャイムを鳴らす場合は、スイッチを両方ともクリックします。
- チャイムをオフにするときは、スイッチをもう一度クリックします。
- チャイムを鳴らす設定になっており、かつ放送を繰り返す設定になっているときは、チャイムは放送を繰り返すごとに鳴ります。
- スケジュール放送時にも適用されます。
- スケジュール放送時に、特定のスケジュールイベントのみチャイムを鳴らさない設定にするときは、「チャイム OFF」を設定します。（P. 39「スケジュールイベントの編集のしかた」）



- 3 右上の×ボタンをクリックする。

チャイム設定画面が閉じます。

■ クラウド通信設定のしかた

アナウンスクリエータークラウドへの接続確認と、クラウドで認証を受けるための設定を行います。

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「クラウド通信設定」をクリックする。



クラウド通信設定画面が表示されます。

- 2 接続確認ボタンをクリックする。

表示されているアナウンスクリエータークラウドの URL へ接続します。

接続に成功すると、「接続成功」と表示されます。

ご注意

接続に失敗すると「接続失敗(〇〇)」と表示されます。その場合はネットワークの設定を確認してから、再度接続確認ボタンを押してください。それでも解決しない場合は、購入店にお問い合わせください。

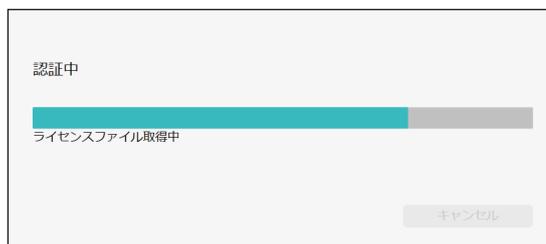


- 3 ユーザー ID と PIN コードを入力し、認証ボタンをクリックする。

認証中ダイアログが表示されます。



ユーザー ID と PIN コードは購入店からお渡します。

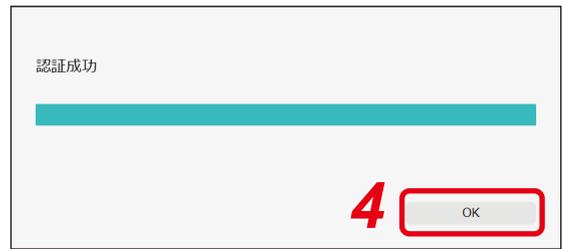


4 「認証成功」と表示されたら、OK ボタンをクリックする。

認証ダイアログが閉じ、クラウド通信設定画面に「認証済み」と表示され、端末名が表示されます。

【ご注意】

認証に失敗すると、「認証失敗」と表示されます。その場合は、購入店にお問い合わせください。



■ クラウド同期のしかた

アナウンスクリエータークラウドと同期を行います。同期には次の2種類があります。

アナウンズデータ同期：アナウンズデータをクラウドの最新データに同期させます。

バックアップ：設定ファイル、ログファイル、スケジュールファイル、および登録音源情報ファイルをクラウドにバックアップします。

ご注意

- アナウンズデータ同期を行うと、スケジュールで使用している放送が使用できなくなることがあります。アナウンズデータ同期実行後、スケジュールの見直しをしてください。
- バックアップには、登録した音源ファイルは含まれません。

● アナウンズデータ同期のしかた

[最新のアナウンズデータに同期するとき]

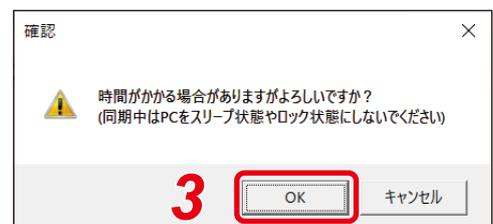
- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「クラウド同期」をクリックする。



クラウド同期画面が表示されます。



- 2 同期ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。



3 OK ボタンをクリックする。

コンテンツ同期中ダイアログが表示されます。

【ご注意】

同期中は、ソフトウェアを表示したままにしてください。ソフトウェアが非表示の状態ではダウンロード速度が遅くなったり、同期が停止することがあります。

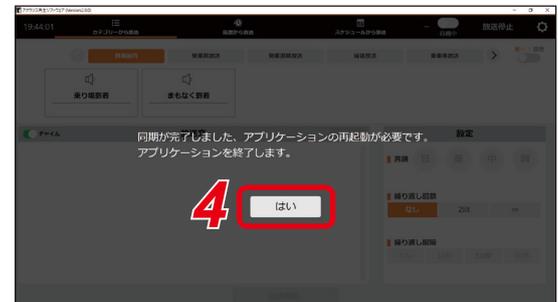


4 同期完了画面ではいボタンをクリックする。

ソフトウェアが終了します。

【ご注意】

アナウンスデータ同期に失敗すると、アナウンスデータ同期中ダイアログに「アナウンスデータ同期失敗」と表示されます。その場合は、購入店にお問い合わせください。



5 ソフトウェアを起動させる。

【×モ】

起動のしかたは、P.5をお読みください。

【×モ】

最新のアナウンスデータがあるかどうか、クラウド同期画面で手動確認することができます。手動確認する場合は、「今すぐ確認」をタップしてください。最新のアナウンスデータがあるときは、「アナウンスデータ同期」の右横に「新しいアナウンスデータがあります。同期を行ってください。」と表示されます。前ページの手順3以降の手順で同期を行ってください。



最新コンテンツがある場合



【最新のアナウンスデータを自動で確認するとき】

最新のアナウンスデータの確認は定期的に自動で行うことができます。

クラウド同期画面で、次の設定を行ってください。

項目	設定内容	初期値
自動アナウンスデータ確認	「する」を選択	しない*
開始時刻	開始する時分を選択	3時00分

* インターネットに接続しない環境では「しない」にしてください。

ソフトウェア起動時および毎日の指定の開始時刻になると、最新のアナウンスデータの確認を行います。最新のアナウンスデータがある場合は、「アナウンスデータ同期」の右横に「新しいアナウンスデータがあります。同期を行ってください。」と表示されます。その場合は、上記【最新のアナウンスデータに同期するとき】の**手順3**以降の手順で同期を行ってください。

ご注意

- このソフトウェアが起動していないときは、自動確認は行われません。
- 確認に失敗すると「自動アナウンスデータ確認に失敗しています。通信環境をご確認ください。」と表示されます。その場合は、購入店にお問い合わせください。



自動アナウンスデータ確認に失敗しています。通信環境をご確認ください。

● バックアップのしかた

[バックアップを自動で行うとき]

バックアップは定期的に自動で行うことができます。クラウド同期画面で、次の設定を行ってください。

項目	設定内容	初期値
自動バックアップ	「する」を選択	しない*
開始時刻	開始する時分を選択	3時00分

* インターネットに接続しない環境では「しない」にしてください。

ソフトウェア起動時および毎日の指定の開始時刻になると、バックアップを行います。



ご注意

- このソフトウェアが起動していないときは、自動バックアップは行われません。
- バックアップに失敗すると「自動バックアップに失敗しています。通信環境をご確認ください。」と表示されます。その場合は、購入店にお問い合わせください。

自動バックアップに失敗しています。通信環境をご確認ください。

[バックアップを手動で行うとき]

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「クラウド同期」をクリックする。

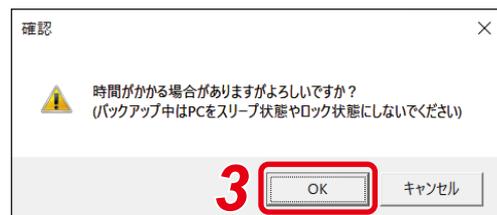


クラウド同期画面が表示されます。

- 2 バックアップボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。



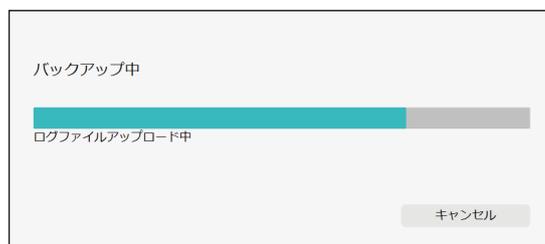
- 3 OK ボタンをクリックする。



バックアップ中ダイアログが表示されます。

ご注意

バックアップ中は、ソフトウェアを表示したままにしてください。
ソフトウェアが非表示の状態では、アップロード速度が遅くなったり、バックアップが停止することがあります。

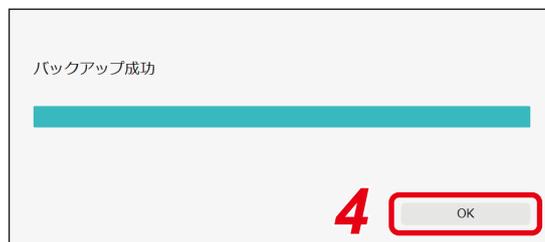


- 4 「バックアップ成功」と表示されたら、OK ボタンをクリックする。

バックアップ成功ダイアログが閉じ、元の画面に戻ります。

ご注意

バックアップに失敗すると、「バックアップ失敗」と表示されます。その場合は、購入店にお問い合わせください。



■ アナウンスデータ更新のしかた

アナウンスデータの更新ができます。

ご注意

- 放送中や、自動放送がオンのときには更新できません。
- アナウンスデータ更新を行うと、スケジュールで使用している放送が使用できなくなることがあります。アナウンスデータ更新実行後、スケジュールの見直しをしてください。

1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「アナウンスデータ更新」をクリックする。



アナウンスデータ更新画面が表示されます。

2 更新ファイル参照ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。

3 OK ボタンをクリックする。
エクスプローラー画面が表示されます。



4 エクスプローラー画面で更新するデータを選択する。

5 OK ボタンをクリックする。
選択したデータが読み込まれます。
読み込みが完了すると「アプリケーションを終了します」という画面が表示されます。

6 はいボタンをクリックする。
ソフトウェアが終了します。

7 ソフトウェアを起動させる。
データが更新されます。



起動のしかたは、P.5をお読みください。

■ 音源登録

お手持ちの音源ファイルを放送用に最大 50 個まで登録することができます。登録した音源は、カテゴリー「ファイル再生」の放送として表示されます。

使用できる音源ファイルのフォーマットは以下のとおりです。

- WAV ファイルの場合：
44.1/48 kHz サンプリング、16 bit、モノラル/ステレオ
- MP3 ファイルの場合：
44.1/48 kHz サンプリング、64 ~ 320 kbps、CBR/VBR、モノラル/ステレオ

ご注意

- バージョンが 2.1.0 より前の場合は登録できません。(P.68 「バージョン情報の表示」)
- 放送中や、自動放送がオンのときには設定変更できません。
- 設定変更にはソフトウェアの再起動が必要です。
- スケジュールイベントに設定した登録音源のボタン名、放送内容は変更しないでください。
- 15 分を超える音源ファイルは、放送開始までに時間が掛かることがあります。

× モ

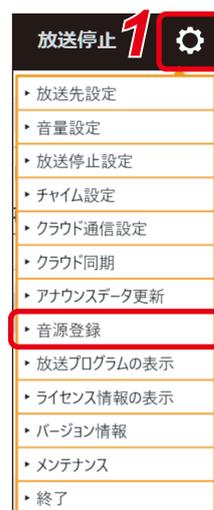
ステレオ形式の音源ファイルは、モノラル形式に変換された後、登録されます。

● 音源の登録のしかた

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「音源登録」をクリックする。

ご注意

アナウンスタータが設定されていないときは、グレーアウトして選択できません。



音源登録画面が表示されます。

- 2 音源登録機能スイッチをクリックする。
スイッチが右側にスライドして、オンになります。

ご注意

音源登録機能がオフのときは、登録した音源ファイルは使用できません。

× モ

音源登録機能をオフにするには、スイッチをもう一度クリックします。



3 リストから、登録する行のファイル選択アイコンをクリックする。
エクスプローラー画面が表示されます。

4 エクスプローラー画面で登録したい音源ファイルを選択する。

5 開くボタンをクリックする。
選択した音源ファイルが登録され、ボタン名と放送内容が表示されます。

ご注意

15分を超える音源ファイルは、登録に時間が掛かることがあります。

6 必要に応じて、ボタン名と放送内容を編集する。

ご注意

- 音源ファイルを登録していないときは、編集できません。
- 改行や、次の半角文字は使用できません。
_ [] < > \ &
- 他の音源と同一のボタン名や放送内容は使用できません。
- 空欄やスペースのみでの登録はできません。

7 設定ボタンをクリックする。
確認ダイアログが表示されます。

ご注意

「修正が必要な項目があります。」と表示される場合は、入力した内容が**手順 6**の「ご注意」の条件を満たしているか確認してください。

× **モ**

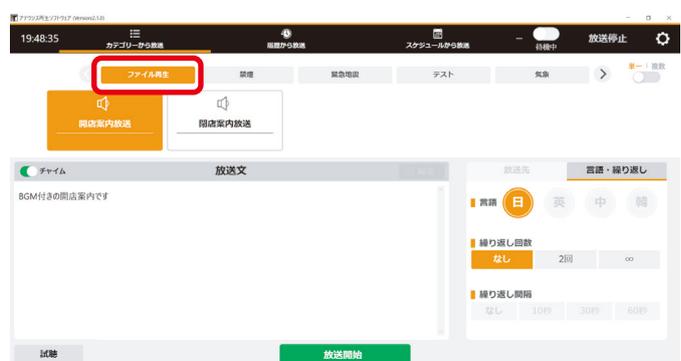
- 再起動が不要なときは、確認ダイアログは表示されません。設定内容が保存され、音源登録画面が閉じ、元の画面に戻ります。音源登録はこれで終了です。
- 設定内容を保存せずに音源登録画面を閉じるときは、キャンセルボタンをクリックします。

8 終了ボタンをクリックする。
設定内容が保存され、ソフトウェアが終了します。

9 ソフトウェアを起動する。
起動のしかたは、[P. 5](#) ををお読みください。
登録した音源は、カテゴリー「ファイル再生」の放送として表示されます。

ご注意

各放送画面では、音源ファイルの登録をしていない行は表示されません。



● 登録した音源を削除するとき

1 削除する行の左端のチェックボックスにチェックを入れる。

2 削除ボタンをクリックする。
「音源を削除します。よろしいですか?」と表示されます。

3 OK ボタンをクリックする。
指定したすべての音源が削除され、空欄になります。



● 登録した音源の行を移動するとき

1 移動する行をクリックする。
クリックした行がオレンジ色に変わります。

2 上移動ボタンまたは下移動ボタンをクリックする。
指定した行が上または下へ移動します。

【ご注意】

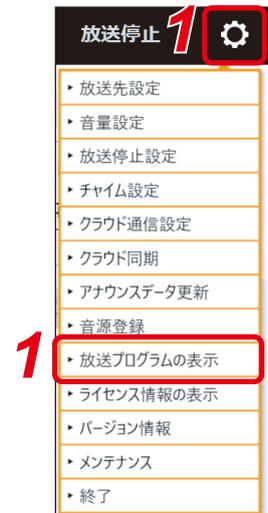
リスト内でいずれかの行のチェックボックスにチェックが入っているときは、移動ボタンを使用できません。



■ 放送プログラムの表示

放送プログラムの状態を見ることができます。また、ソフトウェアのログの確認もできます。

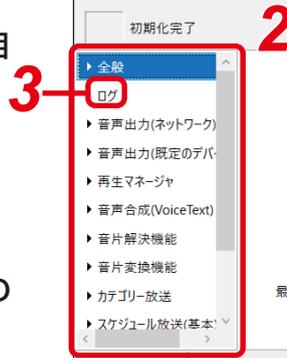
- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「放送プログラムの表示」をクリックする。



放送プログラム画面が表示されます。

- 2 画面左側のメニューから確認したい項目をクリックする。

必要な情報が表示されます。

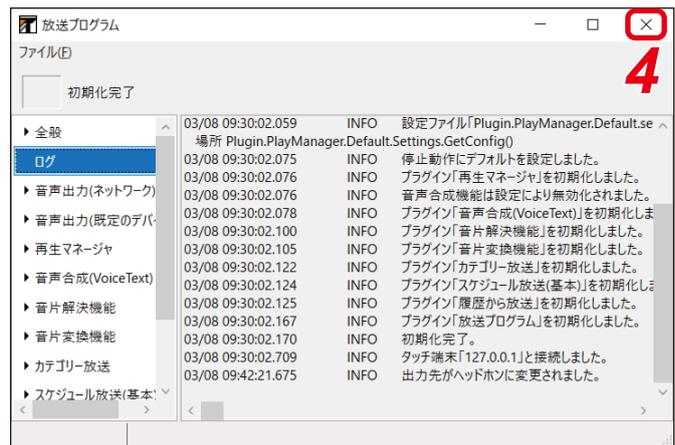


- 3 ログを確認したいときは、画面左側のメニューで「ログ」をクリックする。

ログが表示されます。

- 4 確認後、右上の×ボタンをクリックする。

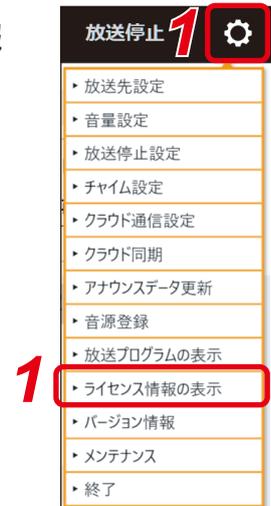
放送プログラム画面が閉じます。



■ ライセンス情報の表示

ライセンス情報が確認できます。また、ライセンスファイルの読み込みもできます。

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「ライセンス情報の表示」をクリックする。



ライセンス情報画面が表示されます。

- 2 必要に応じて、情報を確認する。

- 3 必要に応じて、ライセンスファイルを読み込む。

- 3-1 ライセンスファイル読み込みボタンをクリックする。

ファイル選択画面が表示されます。

- 3-2 ライセンスファイルを選択する。

- 3-3 開くボタンをクリックする。

ライセンスファイルが読み込まれ、確認画面が表示されます。

- 3-4 OK ボタンをクリックする。

確認画面が閉じます。

- 4 閉じるボタンをクリックする。

ライセンス情報画面が閉じます。

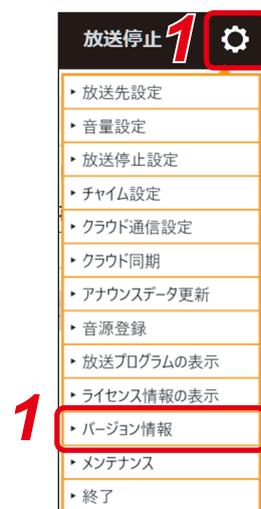


3-1

■ バージョン情報の表示

バージョン情報を確認できます。

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「バージョン情報」をクリックする。



バージョン情報画面が表示されます。

- 2 バージョン情報を確認する。

- 3 OK ボタンをクリックする。
バージョン情報画面が閉じます。

バージョン情報



■ データ消去のしかた

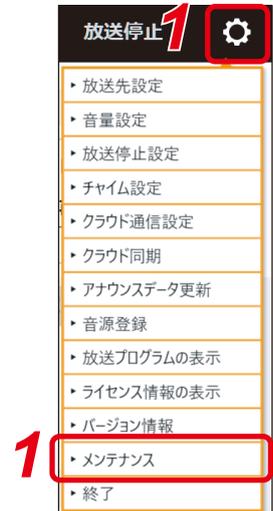
アナウンステータ、履歴、スケジュールデータの消去ができます。

注意

放送中や、自動放送がオンのときは消去できません。

● アナウンステータの消去のしかた

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「メンテナンス」をクリックする。



メンテナンス画面が表示されます。

- 2 アナウンステータ消去ボタンをクリックする。
アナウンステータ消去の確認ダイアログが表示されます。



- 3 OK ボタンをクリックする。
アナウンステータが消去され、コンテンツ消去完了画面が表示されます。

- 4 はいボタンをクリックする。
ソフトウェアが終了します。

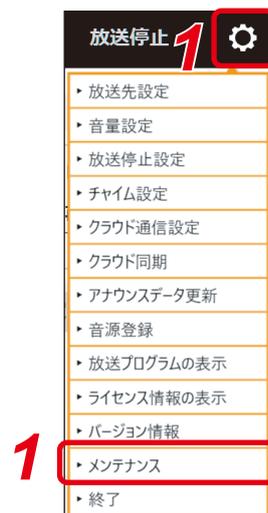
- 5 ソフトウェアを起動させる。



起動のしかたは、P.5 をお読みください。

● 履歴の消去のしかた

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「メンテナンス」をクリックする。

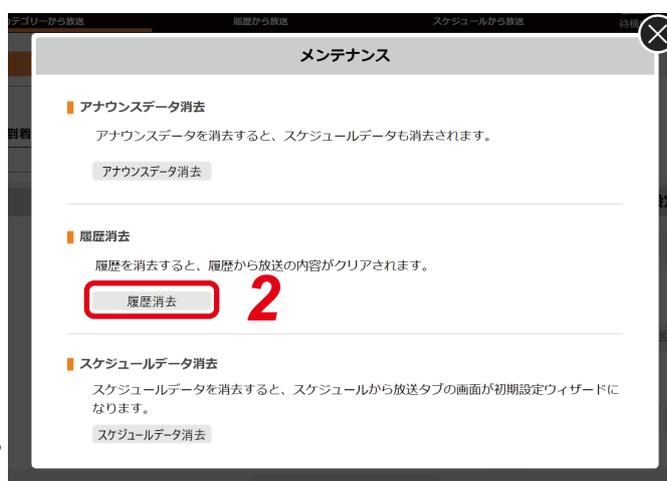


メンテナンス画面が表示されます。

- 2 履歴消去ボタンをクリックする。
確認画面が表示されます。

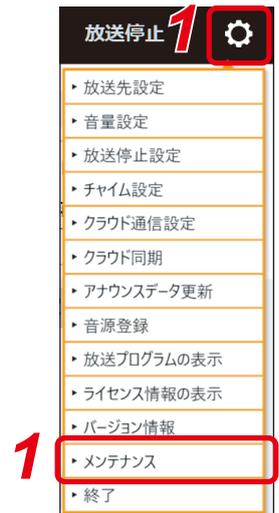
- 3 OK ボタンをクリックする。
完了画面が表示されます。

- 4 OK ボタンをクリックする。
履歴が消去され、メンテナンス画面が閉じます。



● スケジュールデータの消去のしかた

- 1 設定アイコンをクリックし、表示されるメニューから「メンテナンス」をクリックする。



メンテナンス画面が表示されます。

- 2 スケジュールデータ消去ボタンをクリックする。

確認画面が表示されます。

- 3 OK ボタンをクリックする。

スケジュールデータが消去され、メンテナンス画面が閉じます。



× モ

スケジュールデータを消去すると、スケジュールの初期設定ウィザードが表示されます。(P.22)

トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処のしかた
<p>起動時に下記のように表示され、ソフトウェアの起動ができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タッチ端末からアクセスするフォルダにフルコントロール権限を設定できませんでした。アプリケーションを終了します。 	<p>使用するフォルダーの権限がないユーザーからソフトウェアを起動しようとしている。</p>	<p>ソフトウェアを起動するとき、アイコンを右クリックし、表示されるメニューから「管理者として実行」を選択してください。 ( P. 5「ソフトウェアの起動と終了のしかた」)</p>
<p>ダイアログ上に「ライセンスファイルが見つかりません。」と表示され、ソフトウェアの起動ができない。</p>	<p>ライセンスファイルが読み込まれていない。</p>	<p>購入店にお問い合わせください。</p>
<p>ダイアログ上に「ライセンスの有効期限がきれています。」と表示され、ソフトウェアの起動ができない。</p>	<p>ライセンスファイルが有効でない。</p>	<p>購入店にお問い合わせください。</p>
	<p>パソコンの時刻が正しく設定されていない。</p>	<p>パソコンの時刻を正しく設定してください。</p>
<p>ダイアログ上に「端末識別 ID が一致しません。」と表示され、ソフトウェアの起動ができない。</p>	<p>読み込ませたライセンスファイルが、セットアップ中のパソコンのものではない。</p>	<p>購入店にお問い合わせください。</p>
	<p>ネットワークデバイスが無効になっている。</p>	<p>Windows のコントロールパネルから、 ネットワークとインターネット > ネットワークと共有センター > アダプターの設定変更を選択して、ネットワークデバイスが有効であることを確認してください。</p>
<p>ダイアログ上に下記のように表示され、ソフトウェアの起動ができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライセンス認証できないアプリケーションバージョンです。 ・プロダクト名がライセンスファイル内にありません。 ・プロダクト名が一致しません。 ・端末識別 ID がライセンスファイル内にありません。 	<p>有効なライセンスファイルではない。</p>	<p>購入店にお問い合わせください。</p>
<p>ダイアログ上に下記のように表示され、ソフトウェアの起動ができない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライセンスファイルの認証に失敗しました。 ・認証用ライブラリのロードに失敗しました。 	<p>ソフトウェアに問題が発生している。</p>	

症状	考えられる原因	対処のしかた
画面上部に下記文言を含むメッセージが表示され、放送できない。 ・ 接続失敗 ・ キープアライブ失敗	パソコンのネットワーク設定が間違っている。	パソコンの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを適切に設定してください。
	接続先の NX-300 の設定が間違っている。	NX-300 を適切に設定してください。
	接続先の NX-300 がネットワークに接続されていない。	NX-300 の LAN ケーブルを正しく接続してください。
	接続先の NX-300 の電源が入っていない。	NX-300 の電源を入れてください。
	接続先の NX-300 とのネットワーク接続が一時的に不安定になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク経路に問題がないか確認してください。 ● ソフトウェアを終了し、パソコンを再起動してください。 (参照 P. 5 「ソフトウェアの起動と終了のしかた」)
画面上部に下記のように表示され、放送できない。 ・ 放送失敗 他機放送中です。	接続先の NX-300 が他機器からの放送に使用されている。	NX-300 に接続している他の機器の放送状態を確認してください。
音が出ない。	放送先設定が正しく行われていない。	放送先設定を正しく行ってください。(参照 P. 50)
	接続先の放送設備が故障している。	放送設備を修理してください。
音が出ない。 (試聴の場合、および放送先設定の出力先が「ヘッドホン」に設定されている場合)	パソコンの音量が 0 になっている、または十分に上がっていない。	パソコンの音量を上げてください。
	パソコンのオーディオデバイスが無効になっている。	オーディオデバイスを有効にしてください。
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルを正しく接続してください。
音が出ない。 (放送先設定の出力先が「ネットワーク」に設定されている場合)	パソコンのネットワーク設定が間違っている。	パソコンの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを適切に設定してください。
	接続先の NX-300 の設定が間違っている。	NX-300 を適切に設定してください。
	接続先の NX-300 がネットワークに接続されていない。	NX-300 の LAN ケーブルを正しく接続してください。
	接続先の NX-300 の電源が入っていない。	NX-300 の電源を入れてください。
	接続先の NX-300 が放送設備と正しく接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> ● NX-300 が放送設備と正しく接続されているか確認してください。 ● 放送設備の入力レベル調整を正しく行ってください。
	接続先の NX-300 とのネットワーク接続が一時的に不安定になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク経路に問題がないか確認してください。 ● ソフトウェアを終了し、パソコンを再起動してください。 (参照 P. 5 「ソフトウェアの起動と終了のしかた」)

症状	考えられる原因	対処のしかた
接続先の NX-300 の制御出力が動作しない。 (放送先設定の出力先が「ネットワーク」に設定されている場合)	放送先設定が正しく行われていない。	放送先設定の出力先を「ネットワーク」に設定してください。 (☎ P. 50)
	パソコンのネットワーク設定が間違っている。	パソコンの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを正しく設定してください。
	接続先の NX-300 の設定が間違っている。	NX-300 を正しく設定してください。
	接続先の NX-300 がネットワークに接続されていない。	NX-300 の LAN ケーブルを正しく接続してください。
	接続先の NX-300 の電源が入っていない。	NX-300 の電源を入れてください。
	接続先の NX-300 の制御出力が放送設備に正しく接続されていない。	NX-300 の制御出力を放送設備に正しく接続してください。
放送時にチャイムが鳴らない。	チャイムを使用しない設定になっている。	チャイムを使用する設定にしてください。(☎ P. 54)
	放送画面のチャイムスイッチがオフになっている。	チャイムスイッチをクリックしてオンにしてください。
	該当のスケジュールイベントでチャイムを使用しない設定になっている。	「チャイム OFF」の設定を解除してください。(☎ P. 39)
放送画面にチャイムスイッチが表示されない。	チャイムを使用しない設定になっている。	チャイムを使用する設定にしてください。(☎ P. 54)

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (固定電話専用) 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)		

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

202311